

図書館だより

令和3年6月号

発行 いなべ総合学園図書館

第67回青少年読書感想文全国コンクールの課題図書が図書館に入りました。応募要項は図書館前の掲示板に貼ってあります。課題読書・自由読書どちらでも構いませんので、興味のある方は、学校司書へご相談ください。

芥川賞と直木賞

6月11日、日本文学振興会が第165回「芥川賞」と「直木賞」の候補作を発表しました。それぞれ5作品ずつ。受賞作を決める選考会は7月14日に行われる予定です。

ところで、この「芥川賞」と「直木賞」。違いや由来を知っていますか？

「芥川賞」も「直木賞」も、作家で『文藝春秋』の創刊者でもある菊池寛きくちかんによって1935年に創設された文学賞です。ちなみに、賞を主催している日本文学振興会も、文藝春秋社との関係は深く、候補作を選ぶ予備選考は委嘱された文藝春秋の編集者が中心に行っているそうです。^{※1}



菊池寛

「芥川賞」は「新進作家による純文学の中・短編作品」を対象とした賞で、一方の「直木賞」は「新進・中堅作家によるエンターテインメント作品の単行本（長編小説もしくは短編集）」を対象とした賞となっています。^{※2}

※1 「芥川賞・直木賞と文藝春秋」文藝春秋社 <https://www.bunshun.co.jp/recruit/about/award/> より

※2 「各賞紹介」公益財団法人日本文学振興会 <https://www.bunshun.co.jp/shinkoukai/award/index.html> より

芥川龍之介と直木三十五

「芥川賞」と「直木賞」は正式には「芥川龍之介賞」と「直木三十五賞」という名前で、菊池が交友のあった二人の作家を偲んで作った賞です。

芥川龍之介は教科書などで見る機会も多いので、皆さんもよく知っているかと思います。『羅生門』『鼻』『蜘蛛の糸』『杜子春』などの有名作品は、図書館でも読むことができます。また、芥川の生涯や作品解説がまとまっている本もありますので、図書館で探してみてください。



芥川龍之介

一方の直木三十五ですが、知っているという人は少ないかもしれません。『南国太平記』などの作品を残した作家で、そのペンネームの由来はとても変わっています。31歳の時に「直木三十一」として以降、年齢を重ねる毎に改名を繰り返し、35歳の時に菊池に怒られて「三十五」で定着したそうです。そんな直木の作品はWeb上の無料電子図書館「青空文庫」で公開されているので、興味がある人は読んでみましょう。^{※3}



直木三十五

※3 「作家別作品リスト：直木三十五」青空文庫 https://www.aozora.gr.jp/index_pages/person216.html より

菊池寛賞

菊池は「芥川賞」と「直木賞」を作った後、自分の名前を冠した「菊池寛賞」も創設しています。元々は文学賞でしたが、現在は様々な文化活動の中で顕著な業績を挙げた個人・団体に贈られる賞になっていて、近年ではラグビー日本代表チームなどが授賞しています。

お知らせ

今月のテーマ展示は『食べに行けないなら、自分で作ればいいじゃない』です。気軽に飲食店へ行くことも出来ない昨今。食べたい料理があるのに、持ち帰りや宅配で食べられるお店が見つからない。そんな時、どうしますか？
マリー・アントワネットになりきって、この言葉を言ってみましょう。